



こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2020年4月12日号

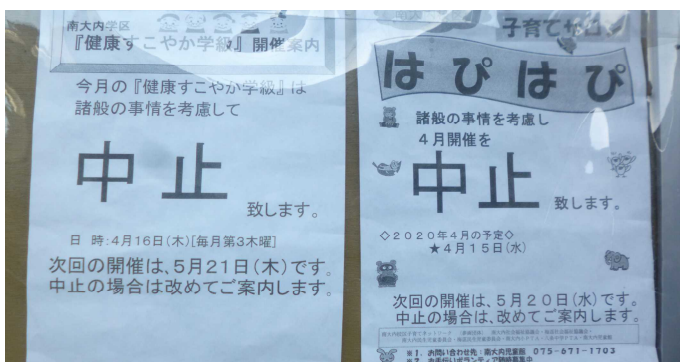
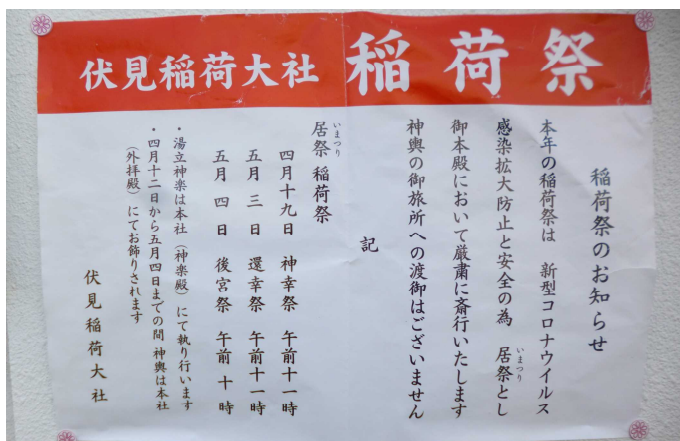
自粛呼びかけなら補償を

貸付ではなく返済無用の直接支援を 納入猶予ではなく、この際、免除を

学校は休暇延長へ方針変更

新型コロナウイルスの影響が広がり、地域の行事なども、中止の決定が相次いでいます。学校も、市教委「新学期は従来通り」との方針でしたが、当面、5月連休明けまで休暇延長と変更しました。ま

● 自動車の部品を創っている工場へ派遣労働。6月末までの契約で、これも更新のハズですが、「コロナの影響で業績不振につき5月1日で打ち切り」と言われ、井上議員と対策協議中(派遣労働者)。
● 水揚げが、2月で3



身近な諸行事も相次いで中止決定



党議員団で、市に対策強化を申入れ(4/7)



割減、3月で5割減、4月に入って1/3に激減。月末には1/10ぐらいに減る見込み。遠方からも近郊からも観光客が来ない。市民も動かず。通院もダメ。予約もキャンセル続き。税金・保険料・事務費・車の維持費など固定経費は売上げと無関係に支払い義務。その固定費以下の水揚げではどうしようもない。借りても返すアテがない。返済無用の支援を。税金・保険料なども、猶

予と言われても、後々、その時に好転しているかどうか分からず、免除にしてもいい。 「流していても誰も乗らないので会社に帰っていいか」と仕事時間途中でドライバーが聞いてきたので「OK」と返事したら、戻ってきた。

観光バス会社などはもっとひどいのではないかと。バスを売って当面、事業「休止」で切り抜けて期をうかがうが、そのまま廃止になるおそれも高い(タクシー会社)。

●ウチは、地域の皆さんに来てもらっているのに、コロナの影響はまだまし。しかし昨年の消費税増税以降、売上げはガクンと落ち込んでいます。コロナ以前の大問題。アベはアカン(喫茶店)。

議会で、対策強化を求めています

国会や府・市議会などでも、対策強化を求めています。市「低利で融資」↓「利子払えない」↓市「無利子で」↓「返せない。返済無

用の直接補助を」↓市「国「対象限定で補助」↓「対象を広く」。 「猶予ではなく免除を」↓これは追及中、等々、引き続き要求中です。

●教室など学校は「密閉」なのに新学期開校は疑問だ(小学生のお母さん)。しかし別の方からは4月初旬で賛成との声もあり。その後、学校は、当面、4月10日〜5月6日迄、休暇延長とのこと。登校は可能ですが給食はありません。
●調理師。固定雇用ではなく忙しい店への助っ人として「包丁一本」で回っているが、全くお呼びが掛からなくなりました。これは千葉県の人話。南区の家族からの相談。井上議員から現地の市会議員に対応依頼。



